令和6年度 黒部川における 連携排砂実施結果及び環境調査結果(速報)について

黒部川は全国でも有数の流出土砂の多い河川であることから、6月1日から8月31日までの間において、所定の流量以上の出水時に、ダムに堆積した土砂を下流に排出するため、出し平ダム(関西電力)は、宇奈月ダム(国土交通省)と「連携排砂」を実施しています。連携排砂を実施することで、ダムが有する機能である〔治水・利水(発電等)〕を適切に維持することができます。また土砂を排出する事は進行する海岸侵食に対し砂浜の回復に寄与することや、河道内の河床低下を防止し下流地域の安全を守ります。

今年度の連携排砂実施期間(6~8月)が終了し、実施結果及び環境調査結果(速報)をお知らせ致します。

○実施結果：今年度の連携排砂実施期間においては、6月23日~25日に連携排砂、6月30日~7月2日に1回目の連携通砂、7月30日~8月1日に2回目の連携通砂を実施しました。出し平ダムの目標排砂量約19万 m^3 に対し、約10万 m^3 の連携排砂^{※5}を実施したものとシミュレーションにより推定しました。

○環境調査：連携排砂、通砂における環境調査の結果は、概ねこれまでの観測値の範囲内でした。

今回、お知らせした連携排砂等の実施結果及び主な環境調査結果の考察については、今後11月まで予定している定期調査結果を踏まえてとりまとめを行い、「黒部川ダム排砂評価委員会」(令和7年1~2月開催予定)で評価予定です。

1. 出し平ダム排砂量と宇奈月ダム堆砂量の変化について

出し平ダムの目標排砂量^{※1}約19万 m^3 に対し、約10万 m^3 の連携排砂^{※5}を実施したものとシミュレーションにより推定しました。この結果は、想定変動範囲^{※2}(約10万 m^3 ~約29万 m^3)に収まる結果となりました。また、令和6年5月の連携排砂前と2回目の連携通砂後の貯水池内の測量結果を比較すると土砂変動量は約16万 m^3 の増加となりました。

一方、宇奈月ダムの堆砂量^{※3}は、令和6年5月の連携排砂前と2回目の連携通砂後の測量結果を比較すると約8万 m^3 増加したことから宇奈月ダムの堆砂量は約848万 m^3 (堆砂率^{※4}約71%)となりました。

【参考】連携排砂が始まった平成13年から令和5年までの出し平ダムにおける年間排砂量の平均は約31万 m^3 です。

※1：目標排砂量は、令和6年5月の堆砂形状を基に再現計算により算定した土砂量としています。

※2：想定変動範囲は、上流より流入してくる土砂量を考慮し排砂量の変動範囲を推定したものです。

※3：堆砂量は宇奈月ダム湖に堆積した土砂量です。

※4：堆砂率は、計画堆砂量(1200万 m^3)に対する、堆砂量(848万 m^3)の進行割合を示すものです。

※5：排砂以降、河川流量が多い時期が続いたこと等により測量を実施できなかったため、排砂量はシミュレーションにより推定しています。

2. 主な環境調査(水質・底質)結果(速報)について

連携排砂の実施に伴い、水質や底質の環境調査を実施した結果については、概ね過去これまでの観測値の範囲内でした。

3. 連携排砂・通砂時の流量について

◆ 連携排砂の各ダムピーク流量と累計降雨量（令和6年6月23～25日）

出し平ダム：513.9m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、21番目の流入量）
宇奈月ダム：798.2m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、15番目の流入量）
累計降雨量：仙人谷ダムで233mm、宇奈月ダムで179mm

◆ 1回目の連携通砂の各ダムピーク流量と累計降雨量（令和6年6月30日～7月2日）

出し平ダム：1104.8m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、2番目の流入量）
宇奈月ダム：1342.9m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、5番目の流入量）
累計降雨量：仙人谷ダムで256mm、宇奈月ダムで106mm

◆ 2回目の連携通砂の各ダムピーク流量と累計降雨量（令和6年7月30日～8月1日）

出し平ダム：662.1m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、15番目の流入量）
宇奈月ダム：689.0m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等57回中、21番目の流入量）
累計降雨量：仙人谷ダムで159mm、宇奈月ダムで106mm

4. 添付資料について

今回、お知らせした連携排砂等の実施結果及び主な環境調査結果の添付資料につきましては、国土交通省黒部河川事務所ホームページ「宇奈月ダム・排砂関連情報」(<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/haisa/haisa.html>)に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

(添付資料)

- ・令和6年6月連携排砂の実施結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 添付資料－1－①
- ・令和6年6・7月連携通砂（1・2回目）の実施結果について・・・・・・・・・・・・ 添付資料－1－②
- ・令和6年6月連携排砂、6月7月連携通砂に伴う環境調査結果について（速報）・ 添付資料－2
- ・出し平ダム・宇奈月ダムにおける連携排砂実施以降の最大流入量比較・・・・・・ 参考資料－1
- ・連携排砂等を含む洪水における愛本合口堰堤取水停止時間・・・・・・・・・ 参考資料－2
- ・環境調査結果 データ集（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料－3
- ・環境調査結果 経年データ集（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料－4

5. その他

■排砂、通砂の用語について

排 砂：6月1日から8月31日までの間に発生する最初の出水の時に出し平ダムに堆積している土砂を流下させるものです。※「出水」とは・・・台風や前線によって大雨が降ると、その水が川に流れ込み川の水が急激に増える現象のことです。

通 砂：排砂を実施した後から8月31日までの間に発生する出水の都度、出し平ダム上流から新たに流れてくる土砂を通過させるものです。

細砂通過放流：翌年度排砂時の環境負荷を軽減することを目的に、細かな土砂を下流へ通過させるとともにダム湖底付近に水の流れをつくり底質の変質を抑制します。

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
黒部河川事務所 副所長（技術） 大井 哲哉
土砂管理課長 寺崎 賢一
電話：0765-52-1122（代表）

関西電力㈱北陸支社
コミュニケーション統括グループ
リーダー 松本 義宏
吉崎 豊
電話：070-2440-9277